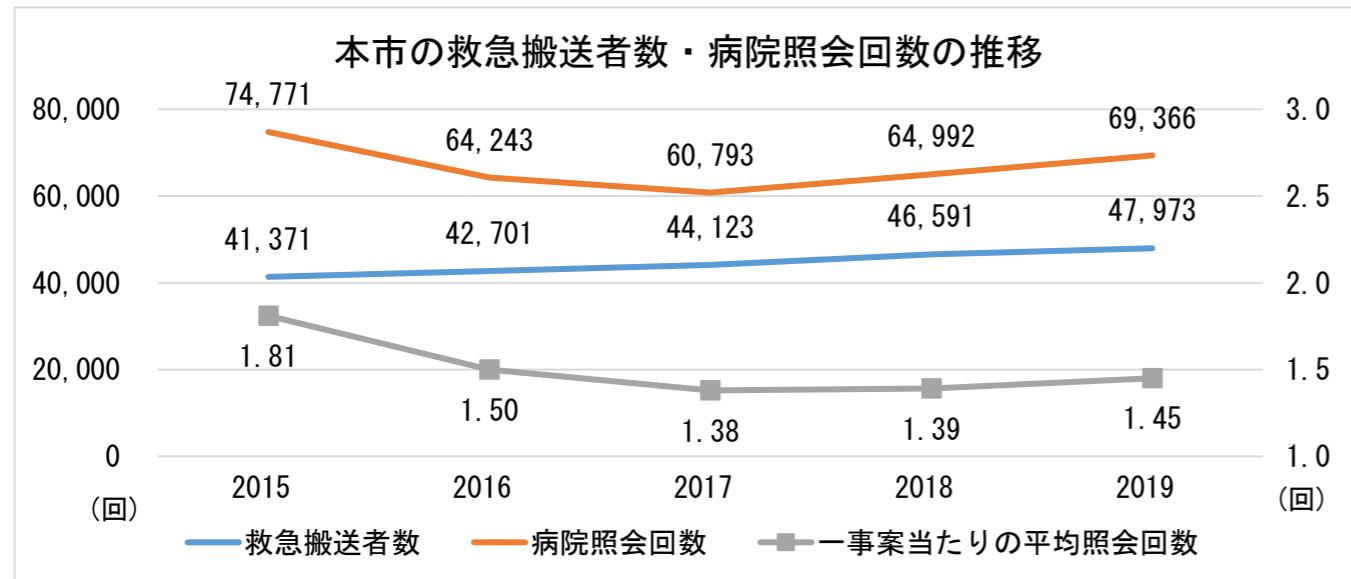
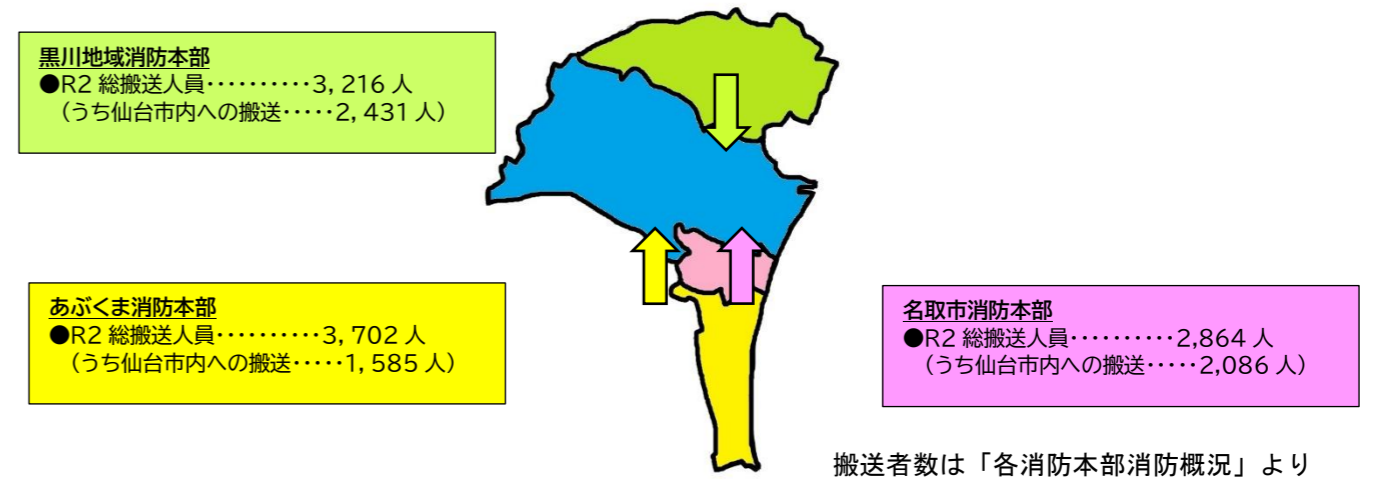


本市の救急搬送への影響について



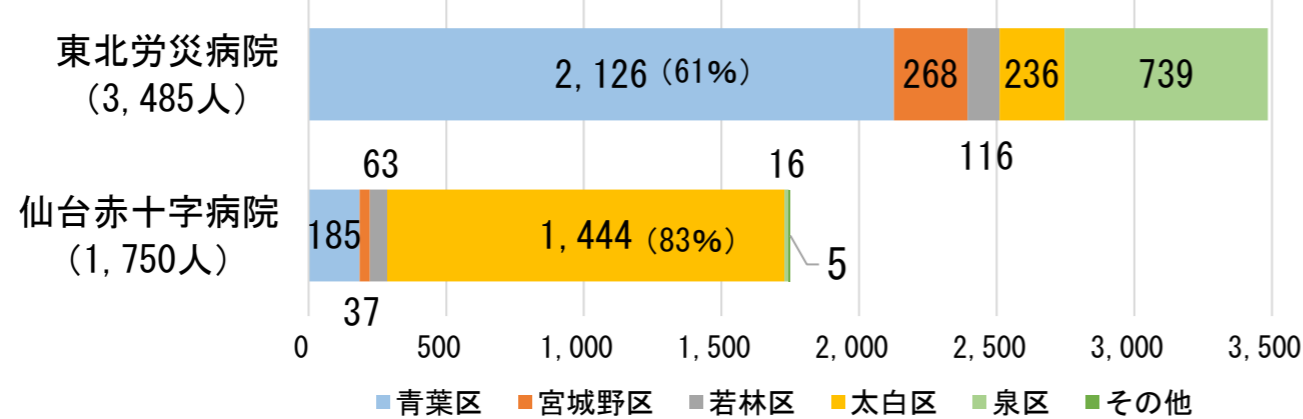
仙台市外から仙台市内への救急搬送実績(令和2年)



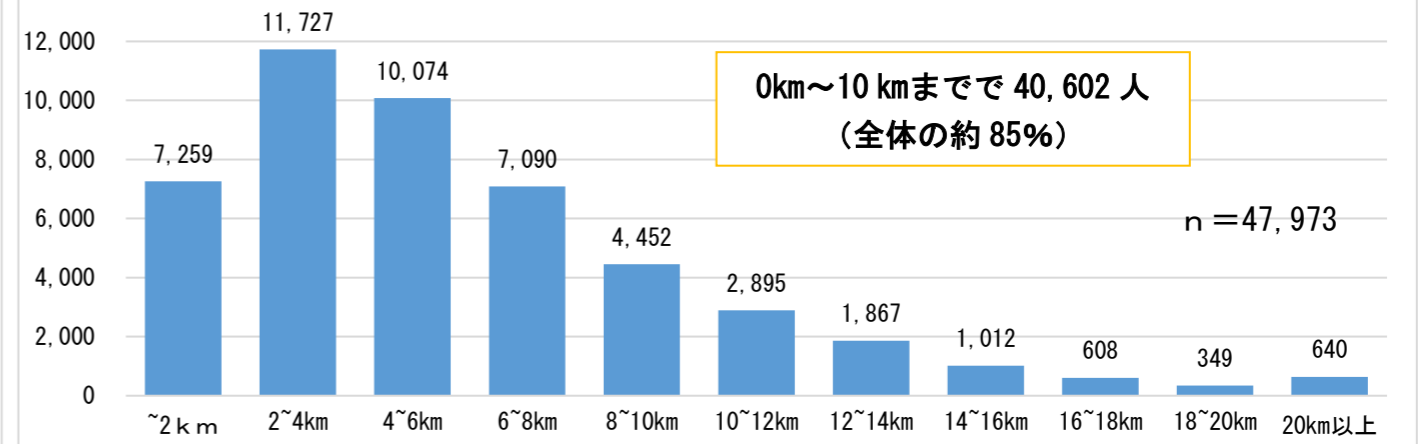
○ 救急搬送者数が一定以上増加すると、一事案当たりの病院照会回数も比例して増加する傾向がある。

○ 令和2年の3消防本部の救急搬送9,782人中、6,102人が仙台市内へ搬送されている。
 ※ 仮に両病院が市外に移転した場合であっても、本市の三次医療機関や専門性の高い医療機関への仙台市外からの救急搬送が相当数見込まれる。
 ※ その他に、名取市北部や富谷市及び大和町南部などの本市に近い地域において発生した救急事案の相当数は、引き続き仙台市内の医療機関へ搬送されることが見込まれる。

東北労災病院及び仙台赤十字病院への救急搬送状況(令和元年)



現場から医療機関までの距離別救急搬送者数(令和元年)



○ 東北労災病院と仙台赤十字病院への救急搬送者数の合計は5,235人で本市における全救急搬送人員の10.9%である。
 ※ 市外移転後の、新病院の立地や診療科目、救急受入体制によっては、本市の救急搬送全体に影響が生じる恐れがある。

○ 搬送距離が長くなる市外の医療機関を救急搬送先として選択する事案は限定的となっている。(本市救急隊の市外搬送率は1.3%)
 ※ 一事案の救急搬送時間の延伸は、管轄区域の空白時間につながり、特に救急需要が高い区域では最寄りの救急隊が対応できなくなる頻度が高まることが予測される。